

7 地域における子ども読書活動の推進

(1) 地域における読書活動の役割

地域には、図書館や公民館、児童館、健康増進センターなど、子どもの健全な育成を支援する施設や子ども会、自治会、育児サークル、読み聞かせ活動団体など、子どもと深くかかわる団体が数多くあります。地域は、子どもの読書活動の推進においてもその効果が期待できる場であることから、子どもが読書に親しむ多様な機会を提供し、充実を図ることが必要とされています。

(2) 現状と課題

公民館においては、子どもとかかわる団体が多様な活動を行っています。育児サークル「ピコロ」「ぴよぴよ」は、日常の活動の中で、ボランティア指導員による紙芝居などの読み聞かせが行われています。また、おはなしサークルによる人形劇や図書館職員による絵本や読み聞かせについての講話を、年間計画の中に取り入れた活動をしています。

健康増進センターの子育てサロン「ふわふわ」においては、サロンに参加しているお母さんが、絵本コーナーで読み聞かせを行っています。

子ども会では、図書館の「夏休み朝のさわやかおはなし会」や「出前おはなし会」を利用して、自治会の集会場などで、おはなし会を行っています。

地域にあっては、日常的に子どもがおはなしや本に親しむ機会づくりに努めることが大切です。しかし、読み聞かせボランティア数が不足しているため十分な活動ができない現状にあります。子どもと本を結ぶ読み聞かせボランティアの育成が求められています。

(3) 地域における取組の方向

アンケートの保護者の自由記載によると地域における取組については、「読書の大切さをPRする」「町内各地域で読み聞かせ等を開催する」「様々な年齢層にあった推薦図書の紹介をする」などの要望が寄せられています。地域では読み聞かせ団体等の協力を得て、積極的におはなし会などを実施して、子どもが読書に親む機会づくりに努めていくことが望まれます。地域の施設や人材が互いに機能や能力を活用、連携しあって子どもの読書活動を進めることが大切です。

(4) 具体的な取組と取組内容

地域においては施設や団体などが緊密に連携・協力をし合って、次のような取組を行い、子どもの読書活動を推進します。



具体的な取組

- ① 子ども会や自治会における子どもの読書活動の推進
 - ・夏休み朝のさわやかおはなし会 ・出前おはなし会の利用
- ② 育児サークル等における子ども読書活動の推進
 - ・読み聞かせ会 ・読み聞かせや絵本の講話 ・おすすめ絵本の紹介
- ③ 読み聞かせ団体やボランティアの情報提供
- ④ 読み聞かせボランティアの育成



取組内容

施策・事業名	ねらいと内容	所管	状況
子ども会や自治会における「おはなし会」の利用	子ども会や自治会にあっては、夏休み期間中、図書館でラジオ体操終了後に行っている「朝のさわやかおはなし会」や「出前おはなし会」を利用して、集会行事の中におはなし会を組み入れ、子ども達がおはなしに親しむ機会を作るように努めます。また、保護者も読み聞かせの協力をするように努めます。	子ども会 図書館 ボランティア	継続
育児サークル等における読書推進	育児サークル等にあっては、年間活動の中で読み聞かせの大切さなどについての講話を、図書館職員や講師を招き実施したり、おはなし会や読み聞かせを行い、子どもの読書活動の理解や関心を高めるとともに、絵本やおはなしに親しむ機会を提供するように努めます。	図書館 育児サークル 読み聞かせ団体	継続
読み聞かせボランティアの情報提供	図書館は、子ども会や、育児サークル等がおはなし会などを実施するにあたって、読み聞かせボランティアや読み聞かせ団体を紹介し、協力を努めます。	図書館	継続
読み聞かせボランティアの育成	読み聞かせボランティアを育成するため、各種広報誌などで子どもの読書活動の理解と関心を深める啓発を行うとともに、読み聞かせボランティア養成講座を開催し、ボランティアの育成に努めます。	図書館 町 子ども会 自治体	継続



各地域で夏休み朝のさわやかおはなし会



子ども会の集いでおはなし会